

設問C4-1-(2) (多くの人が福音に触れる機会をつくる) に対する「その他」の具体的な回答

番号	回答内容
1	外の掲示板で毎月、今月の言葉を掲示するようにした。
2	学校で伝えている。
3	HP,FBを活用している。
4	・社会一般に人が教会に触れる機会として、現代のニーズに合った方法の一つは、若い人々が使うSNSだと思う。慣れないが取り組んでみたり、他にもこのような方法でも活用しながら、社会の中で教会の存在を発信し続けたら良いと思う。
5	趣味のサークル、同窓会（カトリック学校、ミッションスクール）
6	実現は難しいですね。
7	普段の交わりの中、会話の中で。
8	レトリハに行ったとき、お話ししたりする。
9	掲示板にみことばを掲示する。
10	デイサービスで、存在のあかしをしている。
11	希望者の集まりで、福音書を継続して読んでいる。
12	教会と信徒の使命として生活の中での証の必要性を司祭として説く。
13	夫婦で散歩の途中、ロザリオの玄議について
14	SNSの専門家とともに、福音を伝える方法を搜している。
15	入院中にスタッフにカトリック教会はいつOPENで誰でも行って良いところと話した。
16	これまでと特に変化なし。
17	年間、ボーイスカウト
18	子ども会の教会利用
19	教会に来られる方をいつでも笑顔で迎え、交わりを持つようにしている。
20	バザー等に招待した。
21	家族（子ども）への呼びかけ
22	みことばを掲示板に示す。
23	何もできないでいる。
24	今居る教会の仲間が大切。もっと深く神様を知る必要性を感じます。神様との対話を促し、もっと神様を意識して生活する。
25	取り組めていない。
26	「こころのともしび」を信者でない友達に渡している。
27	できていません。
28	教会外で宗教（カトリック）の話をした、
29	周辺にカトリックを知らない人が大半なので、マンションの場合、あいさつ程度なので、同じ階の人から身近な話題で親交を深めている。
30	個人的には活動していない。
31	社会の中で。
32	シスター渡辺の「おかれた場所で咲きなさい」の本をCDに音訳して、市立図書館に納めました。
33	福音に触れるとは非常に内的なことだと思います。イエス・キリストと私との関係を深める近道は、主日のミサだと思います。多くの人々とは誰の事ですか。教会に来て温かく迎えてもらえる環境を作るよう努めている。
34	毎週日曜日のミサにあづかれる事を感謝
35	カレンダーを配付している。

番号	回答内容
36	祈りに触れ、聖書の中の物語や言葉を言う。
37	分ち合いへのお誘い。できるときはなるべく定期的に行う。
38	地域とのつながりは皆無とっていい。過去には、近隣の住民との交流もバザー（聖家族の集い）等を通してあった。
39	違う集いに参加しています。
40	人に話している。
41	とても難しく実現していません。
42	親族内のつながりを深めた。（他宗教の親族へ）冠婚葬祭を通して。 。ご復活の卵をプレゼントした。
43	日常生活の中で声掛けし、信頼を深めていく、
44	地域とのつながり構築にトライしている。
45	子どもや孫が家に来た時、必ずそろって夜の祈りをする。
46	小教区の教会以外の信者さんに誘われて、他の聖書の勉強会に参加している。
47	家族、友人への説明
48	先ず、家庭内でのノンクリスチャンの夫と話をしています。なかなか難しいものです。
49	主人が教会と一緒に来てくれ、ミサに与るようになりました。
50	聖書と典礼のパンフレットを配ったりした。（未信者の方へ）
51	仕事を通して、折に触れ、お話をする機会を持っている。
52	周りの人に、信者であることすら伝えていない。
53	北九州市若松区の合同祈祷会に参加している。
54	地域の行事に参加するようにしている。 納骨堂を訪れる信徒でない親戚も一緒に祈りを唱える。
55	自分の言動が周りの人たちの福音になるように心掛けて生活する。
56	洗礼を受けたいけど、教会に足が遠のいた人に声をかけている。
57	迷っている。
58	心の灯を読んでもらう。
59	笑顔、笑顔、それが福音につながると、今はそう考えるようになった。
60	提供されている項目が自分に当てはまらない。
61	友人をミサの時にロザリオなどして一緒に参加している。
62	カトリック公園
63	ノンクリスチャンである家族の夫、子ども、孫たちに、日頃から、教会でやっていること、教会の中での出来事、集まっている神父や人々について折に触れて話すようにして、親近感を感じさせている。
64	できていません。
65	教会の行事を通して、バザー、殉教記念日など。
66	訪問
67	中高生主催のクリスマスマーケット
68	日曜学校で、親子、子どもが参加できる機会を紹介する。
69	機関誌に取り上げている。
70	回りに働きかけ、声を掛け合う。心得ている。
71	園の行事を通して、保護者、子どもと一緒に聖書の言葉を聞く。
72	3人の方が洗礼を受けていただきました。
73	地区行事に教会の備品を提供した。
74	出版使徒職を通じて。

番号	回 答 内 容
75	私たちは、直接宣教に出向きませんが、毎日出会う修院のシスターへの手紙、そして偶然出会う方々との交わりを通して、多くの方々にキリストの福音を伝え、分かち合えることを願い、日々の生活（一瞬一瞬を）キリストとともに歩んでいます。
76	来院された信徒さんや手紙でつながっている方々に、みことばの一節を会話、文面中に織り込み、疑問や思いを引き出すようにし、考えたり思い巡らしたりできるように工夫しています。
77	カトリック学校
78	修道院で聖書勉強会の場を提供している。
79	高齢者の共同体であること、コロナが続いて事もあり、院内の出入りが制限されていまして、難しく感じた。
80	初対面の方々とのかわりを大事にし、自分がキリスト者であることを知らせておく。あとは、神様に任せる。
81	特にしていない。
82	自己の振る舞いで伝えた
83	知人に対し、ミサについて詳しく説明した
84	日頃関わる人々に自分はカトリック信者(クリスチャン)だと話す
85	まだ未信者の友人の為に祈った。
86	学校で聖書研究会をしている